



分科会D: 転勤

最近、転勤制度を見直す企業が増えてきました。
どうして今、転勤が注目されているのか？転勤の
メリットとデメリットとは？
会社と個人それぞれの立場から、皆さんの本音を
聞かせてください。



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング
祖父江 万里子



一橋大学3年生
荒川 恵美さん

「今まで当たり前だった働き方」が
アップデートされていく今日。
そんな令和時代の就活生の視点から、
転勤制度について真剣に議論していきたいです！

一人ひとりが自らの強みを活かし、
成長できる組織作りをめざしています。
仕事とプライベートのインテグレーション。
どんな形が理想なのでしょう。
皆さまと議論できるのを楽しみにしています。



株式会社三菱UFJ銀行
人事部 企画グループ
次長 鯛 洋太郎さん

■ 転勤分科会～ダイバーシティ推進における転勤のこれから～

概要

- 最近、転勤制度の見直しを行う企業が増えてきました。この背景にあるのは、共働き世帯の増加、女性の就労継続とキャリア形成への意識、働き方改革といった、社会の変化そのものです
- 社会の変化は、個人の生き方・働き方にも影響を与えています。これから先、従業員の多様な価値観とビジネスの発展を両立するためには、転勤はどうあるべきでしょうか。学生と企業の双方の視点から考えます

登壇者 ご紹介

- **一橋大学 社会学部 3年生 荒川 恵美 氏**
 - 2017年一橋大学社会学部入学。ワークライフバランスを中心に労働社会学を学ぶ。過去には学生団体GEILで代表を務め、大学生を対象とした政策立案コンテストを開催、非正規労働者の待遇について政策提言を行う
- **株式会社三菱UFJ銀行 人事部企画グループ 次長 鯛 洋太郎 氏**
 - 1997年築地支店入行。ニューヨーク勤務、海外MBA留学を経て、国際企画部やユニオンバンク（サンフランシスコ）にてMUFGの海外業務施策を担当。2017年より人事部にて人事制度等の企画・立案を担当。家族は妻と長女（11歳）。34歳でラグビーを止めて、今は下手なゴルフを練習中

参加対象

- 企業のダイバーシティ推進担当・人事担当の方
- 大学生（転勤問題に関心がある方、就職後の転勤の可能性に疑問や不安がある方）

分科会D: 転勤 プログラム(予定)

所要時間	テーマ	主な内容
5分	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ ご挨拶、分科会プログラムの説明 ■ 登壇者・協力機関のご紹介
10分	問題提起(MURC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 働く人々の価値観・取り巻く環境の変化に伴い、誰でも・いつでも転勤できるという前提の人材マネジメントは旧弊となりつつあります。多様な人材の活躍推進を図るうえで、「転勤」に関してどのような課題が発生しているのか、解説します。
10分	学生からの疑問	<ul style="list-style-type: none"> ■ これから社会に出て働く学生の立場から、「転勤」に関する疑問・企業への投げかけについて発表いただきます
20分	グループディスカッション ①	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業はどのような目的や狙いで転勤を行っていると思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ● 企業の方々は、自社における転勤の目的と効果について整理しましょう ● 学生の方々は、転勤にはどのような目的があるのか、自身のキャリア形成にどう生かせるのか考えてみましょう ■ 転勤について、企業や働く人々(これから働く学生)が抱えている課題は何でしょうか。企業の立場、働く人々の立場、それぞれから考えてみましょう。
5分	問題提起(MURC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人材の活躍を促すうえで、転勤をどのような視点で見直すべきか、論点について整理します。
10分	企業の取組事例紹介	<ul style="list-style-type: none"> ■ ダイバーシティ推進における自社の転勤施策について発表いただきます
30分	グループディスカッション ②	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人々の働き方やキャリアに対するニーズをふまえ、転勤施策をどのように見直すべきだと思いませんか。企業、働く人々(これから働く学生)、それぞれの立場から考えてみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ● 企業は、転勤機能の目的と人材の多様化の両面に対応すべく、これからの転勤施策についてどのように見直せば良いと思いませんか。 ● 働く人々は、転勤(異動を含む)に対してどのように向かい合うべきだと思いませんか。
20分	グループ発表	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各グループのディスカッション内容を発表し、全体で共有 <ul style="list-style-type: none"> ● 1グループあたり3分程度で発表×5グループ
10分	総括(MURC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分科会の振り返り ■ 全体会(後半)の案内